

大門・丸之内 未来のまちづくり ～20年先を見据えて～

都市政策課 ☎229-3183 FAX 229-3336



令和5年3月に設立した官民連携組織「エリアプラットフォーム大門・丸之内未来のまちづくり」は、大門・丸之内地区の新たなまちづくりに向け、さまざまな社会実験や企画に取り組んできました。これまでに実施してきた「道路空間活用実験ふらっと大門・丸之内」「公園空間活用実験ふらっと大門・丸之内@お城前公園」「シェアサイクル導入実験」「まんなかランチひろば」などの取り組みは、市民の皆さんに新たな都市空間の可能性を体験していただく機会となりました。

今年度は7月から「まんなかランチひろば」を、10月には観音公園で社会実験を実施し、新たな可能性を検証していきます。

こうした官民の連携による取り組みに合わせ、市ではエリアプラットフォームの取り組みを引き継いで、市街地の回遊性を促進するため、津駅周辺と大門・丸之内を結ぶシェアサイクル実証実験を、エリアを拡大して実施しています。

また、新たな施策として、5月から「大門・丸之内 土地・建物活用意向登録システム」の運用を開始しました。このシステムでは、土地・建物所有者が将来的な活用意向を、事業者は土地・建物の取得や活用の希望を登録することが可能です。市が両者の意向を組み合わせることで、地域の土地・建物の活用を促進し、まちづくりを支援していきます。この地区で土地・建物の売却・賃貸を検討している人や、事業展開を考えている人は、ぜひお気軽にご相談ください。